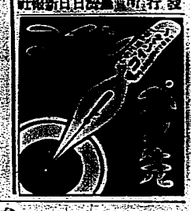
（第二版）（京濱配達）（明治一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十一年十二月九日 台灣日日新報 （水曜日）第一万三千八百十五號 （一）

臺灣新報夕刊

十二月八日 一錢式部一 假定刊夕
臺北本社 人行發 兼編輯
臺北市日丁目町榮市北臺
社報新日日臺灣新聞社 行發



南京會談の眞相 近く中外に闡明

支那側の一方的な聲明を爆撃すべく

【東京八日發】國民政府が外交部長張羣氏の滯日會談の眞相を中外に闡明する為め一日中に政府の聲明を發表し、交渉の經過並に我が要求條項を詳細に公表する筈に決した。而して支那側が此の聲明を發表するからには之れに對抗する爲め支那側の實行に關する聲明を發表すべきであるが、政府は去る二日擇ぶべきかどうか、政府は去る二日擇ぶべきかの川越大使に對する支那側の實行に關何かの希望を與へ其の成否如何は到來せず との見解を持つてゐる

【東京八日發】木幡大佐は從任三年の形式で日支交渉の結果を目標に利に奏功したる中支現地の情勢を見るべきかどうか、政府は去る二日擇ぶ

細萱少將は 九日に離臺

基隆出港の便船で

台灣と密接な關係にあつた第五艦隊司令官細萱戊子郎少將は後任三輪參謀長着任に際し前司令官上京中不在中に就きその職務代理を以て事務引繼後同官邸に於て午後二時より告別の宴を開き、翌九日基隆出港の便船で赴任の途に就く筈である

木幡大佐も離臺

十一日基隆を出港

【東京八日發】木幡大佐は從任三輪參謀長着任に際し前司令官上京中不在中に就きその職務代理を以て事務引繼後同官邸に於て午後二時より告別の宴を開き、翌九日基隆出港の便船で赴任の途に就く筈である

下重大佐は 九日離臺

前軍事課長八幡參謀長、東大佐は九月上旬一時上京告別の後任の途につくと

畑司令官が 歡送迎會

山本主計監と三大佐を招き

畑軍司令官は八日午後六時から軍司令官官邸に於て前台灣軍參謀長山本主計監、前經理部長武部酉井大佐、前航空第八聯隊長下重大佐の送別並に新任岡部參謀長三輪大佐の歡迎會を開

英下院、拍子抜け

期待した重大聲明がなくて

【ロンドン七日發同盟】ボールドウィン首相は七日午後三時二十分下院に於て「英國の對支政策」に關する質問に答へ首相トリー少佐の質問に答へ左の如く聲明した

政府からはモーガンテック・マツ問題以外については何一つ御通告申し上げた事はない、數週間前ボールドウィン首相の滯英の際シンプソン夫人が自由の身となつたら合同夫人と御結婚はされたい御意向を御聞かされた、陛下には御悲位とも御結婚とも未だ御決定に至つてゐないこと、ボールドウィン首相が七日下院で言明した通り、我々の事態は不仕合せであり、我々は陛下の御心境に對し深き感謝の意を表するものである

【ロンドン七日發同盟】シンプソン夫人が國王の重大化に際し身を引き、英國王室の安泰を圖つた美しい犧牲的精神は擧國感激の的となつてゐるが、シンプソン夫人の決意でき、新たな御立場から最後的御裁斷を下されると共に、陛下は陛下の御心境に對し深き感謝の意を表するものである

情勢は急轉回

新たな御立場から 最後的に御裁斷か

シ夫人の聲明によつて

【ロンドン七日發同盟】シンプソン夫人が國王の重大化に際し身を引き、英國王室の安泰を圖つた美しい犧牲的精神は擧國感激の的となつてゐるが、シンプソン夫人の決意でき、新たな御立場から最後的御裁斷を下されると共に、陛下は陛下の御心境に對し深き感謝の意を表するものである

【ロンドン七日發同盟】シンプソン夫人が國王の重大化に際し身を引き、英國王室の安泰を圖つた美しい犧牲的精神は擧國感激の的となつてゐるが、シンプソン夫人の決意でき、新たな御立場から最後的御裁斷を下されると共に、陛下は陛下の御心境に對し深き感謝の意を表するものである

私は直ぐにも 身をひきませう

シンプソン夫人聲明

【カンヌ七日發同盟】問題の女性シンプソン夫人は六月來カンヌのル・ガイユ邸に滯在してゐたが七月末に至り正式聲明を發表し英國民に對し自己の立場を引き續き國王に對した以上英皇室ニドワード八世王の御決斷をも諒せぬ旨

愁眉を開く

シ夫人の申出 理想的解決方

【カンヌ七日發同盟】問題の女性シンプソン夫人は六月來カンヌのル・ガイユ邸に滯在してゐたが七月末に至り正式聲明を發表し英國民に對し自己の立場を引き續き國王に對した以上英皇室ニドワード八世王の御決斷をも諒せぬ旨

配分源資料原

日本も委員會に 參加に決定

代表には伊藤公使

【東京八日發】國際聯盟理事會は七日午後四時より事務所内に市參事會を招集し、石井出井以下關係委員會の構成を明年三月の理事會に於て決定する筈になつてゐるので帝國政府も其の決定を俟つて代表者を送る筈になり目下關係當局に於て人選を進めてゐるが、委員としては伊藤ポーランド公使其他が任命される模様である

【東京八日發】國際聯盟理事會は七日午後四時より事務所内に市參事會を招集し、石井出井以下關係委員會の構成を明年三月の理事會に於て決定する筈になつてゐるので帝國政府も其の決定を俟つて代表者を送る筈になり目下關係當局に於て人選を進めてゐるが、委員としては伊藤ポーランド公使其他が任命される模様である

鐘紡の南進政策

比島蘭印の經濟實地調査

【東京八日發本社特電】日獨協定成立後一部に日獨間の通商關係の好轉を期待する向もあるが、御承知の如くドイツは現在ドイツ國内に於ける原料缺乏の爲め外貨獲得に極力努力しつゝあり、日本はそれに反し輸入超過の狀態にあるので日本からの輸入額を三割方制限されたき旨を要求して來た、我が政府としてはこれに對しドイツ側が從來の

仇敵共匪と安協し 抗日戰線を强化

西安城に將領を集め 蔣介石氏しきりに對策に腐心

【上海七日發同盟】傳ふる所によれば蔣介石氏は西安に到着以來、張學良氏と同伴西安に到着した際九日は西北地方の軍事的防備強化のため西安に國防會議を開催するに決定し西北各地軍に召集令を發したと言はれる。西安には目下十萬以上の軍隊が集結中で、之等の軍隊の一部は既に陝西省に入つてゐるが、之等の軍隊は抗日統一戰線の結成を目的として共產軍包圍の爲めに移駐したものと見られる。

【上海七日發同盟】蔣介石氏の到着以來、張學良氏は蔣氏の身邊に在つて之等の軍隊の編成に當つてゐるが、之等の軍隊は日本軍の侵略に對抗して共產軍と協力して抗日統一戰線の結成を目的として西北の防備を强化するにあるが、張氏は具體的方策として共產軍との妥協及び舊東北軍の改編等を强調し、蔣氏の第一線として西北の防備を固めんとするものと見られる。

共禍の絶滅は 滿洲國の理想

內蒙正義軍を極力援助せよ

協和會長 張國務總理談

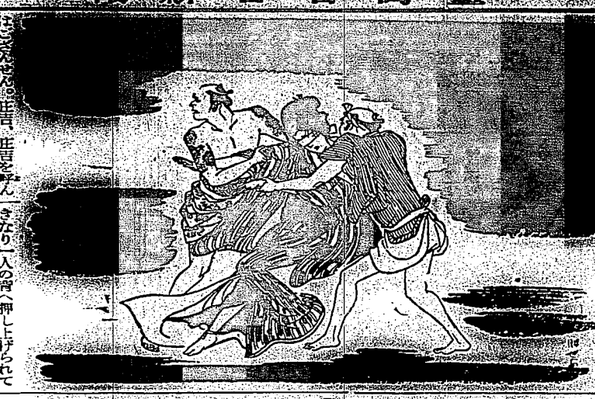
【新京七日發】滿洲國協和會中央本部指導部長民政部次長兼總務廳人事處長兼民生部次長兼興農部次長兼協和會中央本部總務部長兼指導部

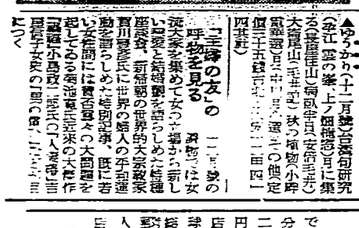
御殿女中（125）

（前上題）　邦枝完二作　神保朋世画

聞の庭（七）

「おや。」
「お組さん、静かにしなよ。」
「まあお前さん誰はゝ……」
「よよ、今朝ばくなア貴様なことをするぜ。」
「庄吉、庄吉に食はせておくんなさい。あたしやどうでも庄吉となさい。」
「よいく、静かにしろってのが、おめへに頼まれたのか。庄吉かお組の子だか知らねえが、もう夜ふくに男ア半里も先へ行って呉れ分だ。」
「そ、そんならここに赤坂の里ではなくて……」
「あゝ聞たより初から相撲と感とるておめへ様がからよ。」
「ふん、いつまで聞かれることを云ってるんだ。庄吉に食はせたくもおめへにちっと断り相談があるんだ。のう組さん、つまらねえ遠慮をすることもいゝ加減聞きひとをさせられるぜ。悪いこたアこねえから、親百万石のお云ふことを聞いて、ちっと大人しく奥様から断りねえ。」
「いゝえ、いやでございます。」
「いやの断のと云ってる時ぢやアねえ、てのによ。そんなくでもおめへセリフを覚んでるとどこまでもおめへは我をするばかりだ。——さ、こっちへ出なといふに。」
「おれツ、誰か来て。」
「正しねえ、面白くもねえ。これが誰の口から知らねえこと、もうこれで一時過ぎの御飛脚を原宿別だいくらおめへが強情を張ったって、助けに来る奴なんてただの一人だってあるわけのもんぢやアねえや。——さ、素直に出ねえ。」
「おれツ。」
「おゝ、また云やがったな。おい兄貴、た見てのねえで手を貸しねえ。」
「合点だ。」





蔣氏容共產軍之言
移駐舊東北軍絞遠
近西安召諸將開軍事會議

上海七日發。據路透社報。蔣介石氏。自洛陽偕張學良到西安。爲西北地方極根的防禦擴充計。決在西安。開國防會議。已發電召西北各地諸將。西安日下有于擧也。楊虎成。其他軍政各界要人在。更擬待綏遠陳誠氏以下。中央軍諸將到後開之。設會議主要議題。爲國防第一線。强西北之防備。尤傳具體的方策。即與共產軍妥協。及舊東北軍移駐綏遠。爲其眼目。舊東北軍目下討伐共產軍包圍殲滅。然難民容共產軍之言。九之結成統一對抗戰線。而今舊東北軍。解共產軍包圍移駐綏遠。使爲對日國防第一線云。

中央軍近爆擊內蒙
頻送利器着々準備

北平七日發。大原飛行場。爲中央軍根據地。急送擴張工事。中央目下於綏遠戰線。增派飛行機。並自南方。經由洛陽機送多數爆擊機。爆擊綏軍。著々準備云

貴院制度調查第一回
總會十四日幹事會十日
幹事案或爲微溫的

東京八日發。貴族院制度調查會。去月開第一回總會以來。已陷於停頓狀態。茲訂十四日午後二時。在首相官邸。開第二回總會。然訂十日先開幹事會。協議前回總會要委員從速提出幹事案。該幹事案雖期待其自諮情勢推察。而提出大改革案。究或微溫的。該調查會結論。到底至案議會。有所未及。似須重研究云。

夫人準備抽身而退
英國朝野愁眉共展

倫敦七日電。辛普遜夫人。準備抽身之報。傳。英國莫甚相。暨一般輿野。以夫人所言。爲理想的解決方法。而展愁眉。一般對夫人。當念好轉云。

集團論之力
援助內蒙軍

滿洲張協和會長談

新京七日電。滿洲國各政總理張景惠氏。以協和會精神所發。吾人對內蒙長官談話。表明援助內蒙軍。掛軍共產勢力進出之意向。其內容如左。

隣邦共和國。親愛共鳴極重。民生疲弊。內蒙農軍。赤化之絕滅。不顧一切苦難之滿洲國。全與內蒙義軍措置。

內蒙軍進擊
在爭百靈廟
德王指揮

上海七日電。據本地泉所報。德王氏指揮蒙古軍。

南京會談眞相
決定閘明中外
政府兩三日中公表

東京八日電。國民政府。既以外交部常局談形式。將日華交涉經緯公表。有利於巳國。又使半官辨中央通信社。發表對華方我要求條項之意向。帝國政府。極抱不快感情。且攻擊其一方的辭明。將南京會談眞相。閘明於中外。決定兩三日中。命政府聲明。將交涉經過。並我要求條項等。詳細公表。而華方敢爲斯不信行爲。是料國交調整所關日華交涉決裂。然政府見解。去三日提示川越覺書。幾分希望緩和狀態。華方實行。尚未完決裂狀態

法使代理
爲駐華法使
釋明眞意

東京七日電。歐洲列國協定。英佛法俄三國。日本協約締結及翻訳事。已使訪問駐日法使代理。務使

盛況閉會

召訊書簽案

頭前溪治水
工事鍬入

頭前溪治水工事鍬入式。訂九日午前十時起。集于竹東街下公館。是日山縣內務局長。亦委臨席。而地方民衆志等。將在竹市湖畔。招待內務局長。

上海天然痘猖獗
中華官憲嚴戒邦人
據長沙丸所齎情報

重光駐俄大使
對賈議長
捧呈國書

俄都七日電。新任駐俄大使重光葵氏。七日午後。訪克聯琳宮。對中央執行委員會議長賈利仁氏。捧呈國書

服文官服
詐騙農民十金
被警官追獲

報紙盛載倒蔣運動
致剌戟中國之神經
中村廣東總領事來臺談

公定米價決定
按用家計米價
統制法制定後濫觴

東京六日本社特電。稱農林省於本年度標準公定米價決定時。援用家計米價此係昭和八年米穀統制法制定以來之濫觴。其理由如左。

一、元來最低米價。乃參酌物價及生產費而決。惟最高價格。僅參酌物價而決定。其不合理。

二、農相之高米價政策。最近各方面非難聲浪甚高。

三、最高米價。乃於物價參酌價之上値二三成範圍內決定。本年度因物價參酌價格騰貴。乃爲最低限度上値二成。但高公定米價。比昨年度加升一圓二三十錢（照）

南投檢查粟種

南投街場訊。昭和十二年第一期粟種檢查日程。六日苗栗。腳七七回。同十六回。九日埤盤口二十八回。同二十九回。十日營盤口二十八回。三塊厝十四回。十一日三塊厝十五回。軍功寮十四日包尾十三回。小半山二十七回草尾頭二十一回。十五日內轆三十一回。同三十回。營盤口二十九。回十六日內轆三十二回。十八日苗栗。同十六回。同十二回。十九日三塊厝十五回。同二十回。二十

臺灣日日新報
本紙ハ月二十一回発行
昭和十一年十二月九日
臺灣日日新報社

臺灣日日新報

本紙ハ月二十一回発行
昭和十一年十二月九日
臺灣日日新報社

臺灣日日新報

創刊二十二年
毎日十二頁
全工業網羅

本紙月極讀者へ無代進呈！

五大附錄
日記の記
日刊工業新聞社
ホテル旅館
営業案内
巻頭カラー
巻末広告
巻中特別
巻末索引
巻頭言
巻頭口絵
巻頭目次
巻頭
巻末
巻中
巻頭
巻末
巻中
巻頭
巻末
巻中

近づく議會と國民の關心

新議事堂に入る用意ありや

一

第七十議會の開會もあと餘すところ二週に十數日、政府の豫算案は既に成り、提出議案の準備も略ゝ整頓に近づきつゝある。さて政府の提案を前にして、政友の諸大家は如何に取扱はんとするか、與黨の態度は、昨今は兎角議會を輕視したり、政府の提案に對して無條件的に賛成したりするの傾向があるが、その實質は議員一般の不勉強と、取扱ふ問題の重要性を忘れてゐるからである。

二

ひとり政府の側に於てのみならず、政黨もまた此點に對して大いに考へられねばならぬ。

三

二十億円を突破せる巨大豫算を携げて議會に臨む政府は議會をして之を納得滿足させるには、閣員が能く豫算の内容に通曉し、政策的背景を有する問題もあり、此等は何れも政策に取つては最も重大問題であつて、國民代表の地位に在る議員としては、それ相應の準備と非常な努力とを以てするやう努めなければならない。

四

ひとり政府の側に於てのみならず、政黨もまた此點に對して大いに考へられねばならぬ。

五

第七十議會を控へて政黨に關係ある人々の動き
政友會の對策協議
政友會も重大視
政友會も不滿
財政問題につき
英帝が御下問
危險を感ずれば
有効適切な措置

政府の對外方策に 樞府の態度硬化

政局に及ぼす惡影響を虞れ 外相諒解を求めん

【東京八日發】政友會は八日後一日支交渉打切り、日ソ漁業條約問題並に樞府の對外方針の變更など各方面の態度は概ね決定化しつゝあり殊に樞府方面では二の問題を重大視して居り其成行如何は能く政局の動きを左右するものの如くである

【東京八日發】民政黨は八日後二時より本部に幹部會を開き先づ永井幽之助總務長より二十二日議會を開くこと外一件を報告したるを承認し小川郷太郎氏より豫算案を說明の後外交問題に關し質疑應答あり、次で午後四時より總會を開き同樣の說明質疑應答あり、次で午後四時より總會を開き同樣の說明質疑應答あり、次で午後四時より總會を開き同樣の說明

流石は米・砂糖の臺灣

十一月迄の移出 一億五千七百萬圓

全移出品價格の八割を占め 前年より三千萬圓の增

總督府財務局調査に依れば本年十一月末に至る台灣米と砂糖の移出高價額は金砂出品總額二億三千二百四十七万三千五十四圓二十錢五千六百九十五万二千百九十四圓で前年同期の移出高一億四千八百八十四万千九百九十四圓に比べ前年同期の移出高八割四分に當り移出數量は米砂糖共に百万噸の移出しか出來ないのであるから價額的に見るに米砂糖の移出計數額は九百九十五万七千九百九十六錢、この價額一億二千七